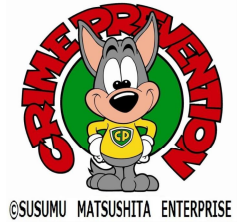


リアルとネットの不審者

広島県東広島市立磯松中学校 3年 大山 紗季



現在、私の身のまわりでは、不審者による様々な事件やトラブルが起きています。不審者、と聞くと見知らぬ人に話しかけられたり、後をつけられるということが頭に浮かびます。実際に学校でも不審者情報の案内や、防犯教室もあります。しかし最近、このような対面の被害だけでなく、SNSを中心としたインターネット上で見知らぬ人とのトラブルが増えています。そこで、私は不審者に関して、リアルとネット、それぞれの対策について考えることにしました。

まず、リアルの不審者についてです。私の周りでは先日、二件の事件が発生しました。一つ目は、家の近くで男性が友人に、待て、と声をかけられ、立ち止まると体を触られたことです。二つ目は、近所のスーパーでお客さんが、ナイフを持った男性に追いかけられたことです。このように身近な所でも、恐ろしい事件が起きています。

私はもし自分がこのような被害に遭った場合、どうすれば良いかについて考えました。私はまず、すぐにその場から逃げることが必要だと思いました。しかし、実際の被害について調べると、恐怖で足がすくみ、何をすれば良いか分からず動くことができなかつた、という方が多かつたです。そこで、日頃から防犯ブザーを持ち歩くこと、こども110番の家について知っておくことも、対策として挙げられると思いました。こども110番の家は、私の住んでいる地域では、玄関に黄色い旗を掲げている家で、不審者等の被害にあった時の緊急被害場所となっています。こういった場所を知っておくことは、自分が被害に遭った時にどんな行動を取るのか、その選択肢が広がります。また場所の把握だけでなく住んでいらっしゃる方とのコミュニケーションも大切だと思います。そのため、私は普段から地域の方々に挨拶をし、自分の町のイベントに積極的に参加していきたいです。そうすることで、緊急時に遠慮することなく助けを求めることができるとともに、日常の交流も増え、より良い地域づくりにも貢献することができると思います。

次にインターネット上の不審者についてです。先日、私にインスタグラムのメッセージ機能で知らない人から連絡が来ました。そこには、広島に住んでいるのか、学校はどこ、写真見せてといった内容が書かれていました。私は返事をせず、すぐにそのアカウントをブロックしましたが、住んでいる場所や自分を特定されるのではないかととても怖くなりました。また、友人はアカウントを他の人に乗っ取られ、名前や学校などの個人情報を勝手に流出させられま

した。このように、ネットではより多くの、より簡単に、事件や犯罪に巻き込まれやすいのです。私は、少しでも被害を減らすために何かについて考えました。

まずSNSを知り合いの範囲内で使うようにします。基本的にどのSNSでも、自分のアカウント公開の範囲を決めることが可能です。そこで全世界ではなく、自分の許可をした人のみに発信をすることが良いと思います。そして、SNSに住んでいる場所や名前など個人が特定できるようなものを載せないようにします。特に、周りでは自分のアカウントのプロフィールに学校名や所属している部活動などを書いている人が多いです。しかし、もしアカウントの公開範囲を知り合いのみにしたとしても、プロフィールに関しては、外部からも見ることが出来ます。また、自分が個人情報を書かないことも大切な一方、自分が学校名などを載せている場合、そこから推測され被害に遭う元とも考えられます。よって、ネットを使っていく上では、自分だけではなく、周りの友達も同じように防犯の意識を上げていく必要があると思いました。

私たち中学生は、まだ体も心も成長途中であり、力や知識は大人には及びません。そして、そんな私たちを狙う悪い大人は、周りに沢山います。不審者からすると、特にインターネットは対面よりも手軽で、多くの子どもをターゲットに出来る手段だと思います。その中で私は、もし被害にあったらどうすれば良いか事前に考えておくこと、また正しい知識やネットリテラシーを身につけることを、自分だけではなく、周りの友達などと共有しながら徹底していきたいです。